



「誰か」を「何か」を守る安全の考え方は
解説ページで



「安全・安心」に欠かせない取り組みを、サンライズ運送に勤めるスタッフたちそれぞれのエピソードを通じて紹介。

第34話 愛する「誰か」を 「何か」を守るために まずは自分を守る



愛する「誰か」を「何か」を守るためにまずは自分を守る

事故から自分を守るためにも 仕事の考え方を自分優先から、周りの人優先へ

運転するのはひとりですが、配送先までには他の運転者や歩行者、また構内にはお客さまをはじめ関係者が無数にいるものです。事故を招きやすい自分優先ではなく、周りの人考えた仕事のやり方を変えていきましょう。



マンガ制作: ad-manga.com

謹んで新年の お慶びを申し上げます

人生には短時間では語り尽くせない物語があり、その結末を読めないことも奥深さや楽しさなのかもしれません。長く楽しむためにも安全を好きになって、自身の人生に今年も一日一日、今日の安全を刻みましょう。



高柳 勝二 (たかなぎ かつじ)

株式会社 プロデュープ代表取締役。1990年、運送会社にドライバーとして入社し、管理職を経て18年間勤務。2008年に株式会社 プロデュープ設立。中小運送会社からの依頼が多い“提案型”研修は、受講されたドライバーや管理者からの「おもしろい、眠くならない、分かりやすい」との評判が口コミで広がり、各都道府県のトラック協会や協同組合等の研修会でも講演多数。2016年度から2022年度まで国土交通省「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」委員。

「好きになる」ことの波及効果

お客さまを好きになれば、お客さまが喜ぶ顔が見たくなり、そのための行動を考えて実践します。「好きになる」ことでポジティブな輪が広がっていきます。



トラックを好きになれば…
洗車の回数が増えて、
トラックが美しく。
同時に洗車の道具を
大事に長く使うように。

運転が好きになれば…
確認の回数が増えて、
無事故に向けた努力を
重ねるように。

「好き」の量だけ幸せに

人生において、好きなものに多く出会えた人や好きなことに長く熱中できた人は、きっと幸せな人生になるでしょう。仕事においても、「好き」の量が多ければ多いほど幸せになるものです。

一緒に働く仲間を好きになれば、その仲間と話せる会社の居心地が良くなって、会社が好きになります。会社を好きになれば、構内の美化が気になるだけでなく、社名入りの車両や制服にプライドを感じるようになるでしょう。

またお客さまとの関係を好きになれば、それを維持しようと安全にも配慮します。そして、安全を継続することでお客さまから感謝をされると、今度は自分が好きになり、自身を大切にしようとさらに安全になれるものです。そして自らも好かれようとすれば、良い仕事をしようと準備からこだわることになります。

自分優先の考え方は事故を招く

仕事への考え方が変われば行動も変わるはずですが、考え方が変わりにくい人や、せっかく変わってもすぐに元に戻ってしまう人もいます。

重大事故につながる危険なヒヤリハットを起こす人の考え方は、その時の行動だけでなく、日頃の会話から優先順位や判断基準を聞いてみると、おおよその予想がつくものです。例えばドライバーに対して、「運転中は目的地に早く着くのと無事に着くのとどちらを優先する?」「作業は自分が楽なやり方で進めるのとお客さまの要望に合わせるのとどちらを優先する?」など尋ねてみましょう。主観(自分、会社、お客さま)の違いにより仕事のやり方(優先順位や判断基準)が変わるものですが、往々にして自分優先の考え方の人は、事故やフレームを発生させる傾向にあります。

安全とは、その人が思い描く人生や、愛する誰かの生活を守るための手段です。人生や生活における夢の大きさや目標の高さによって、安全への考え方が「できれば無事故」から「ぜったい無事故」に変わってきます。その結果、社会や会社が設定した安全ルールの守り方も必然と変わってくるものです。

身近な誰かを守るためには、
まずは自分を事故から守る

「誰か」をもしくは「何か」を好きになれば、今の状態を維持できるものです。大切なものを失うことのないよう、まずは自分を事故から守りましょう。